

株式会社ジェイコムイースト 群馬局 2018 年度放送番組審議会 議事録

2018 年度の放送番組審議会は 2018 年 11 月 6 日(火)に開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

石 井 學 様	大 竹 良 明 様
高 柳 聡 志 様	竹 中 三 郎 様
田 島 圭 次 郎 様	長 塩 英 雄 様
深 澤 る み 様	

事業者側から局の現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みについて説明があり、その後、審議番組について委員より意見が出された。

番組の審議 (石井会長による議事進行)

■ 審議番組「ジモスポぐんま」

(会長)

それでは「ジモスポぐんま」について各委員よりご意見やご要望をいただきたい。

(委員:オリンピック選手を発掘)

子供向けのスポーツとしては空手や柔道、サッカー、野球、ラグビーなどが多いが、今回取り上げているキックボクシングは大人のスポーツと思っていた。また、フィットネスとして女性の参加者もいて番組を観てキックボクシングの魅力を感じた。今後、さらに普及してもらいたい。番組では子供が地域に参加しているという企画内容で全体的にとっても良くまとまっていた。将来、オリンピック選手になりたいと言っていた子供もいたので、群馬県からオリンピック選手を発掘できると良いと思う。

(委員:地域との繋がり)

他のメディアでは取り上げることが少ないスポーツを紹介していてとても良い。競技人口の大小にかかわらず地元で活躍する方々を紹介するというのは素晴らしいと感じた。キックボクシングでは地元にはトップ選手がいるということを知らない人もいる。そういった方を紹介することでキックボクシングを習う子供のモチベーションのアップにも繋がる。紹介した映像は子供たちの将来への財産になると思う。多くの方に伝わるように作るのは難しいとは思いますが、何か光るものを取り上げていただき、地域との繋がりを大切にする

J:COMにはそういった映像の記録を残してもらいたいと思う。

(事業者)

私ども J:COM もラグビーワールドカップの開催の成功に向け、ラグビーコンテンツの強化を図っていく。

(委員:放送日程をPR)

「スマイルフェスティバル」は地域の振興を目的としており、第三者的立場に立って取材してもらうことはとても有益である。他の番組同様、より多くの方に観てもらうために取材の現場においては放送日程についてのプロモーションが欲しい。取材を受けた方もいつ放送されるか知りたいと思うはずである。事前に放送日程が分かればイベントでのPRも可能と思われる。

(委員:観て分かりやすい番組)

ケーブルテレビの加入世帯数を増やすことはもとより、コミュニティチャンネルの視聴世帯数を伸ばすことも事業活動の目標原点と思われる。そういう意味合いもあり、観て分かりやすい番組を制作してもらいたい。

(委員:地元で喜ばれる番組)

地元の方だけでなく、関係者に喜ばれる番組である。多くの子供が参加するスポーツを取り上げることで親である大人も観る。番組を制作する方は番組をつくるのが目的と思うが番組は観て喜んでいただくことが大切である。さらに事後報告だけでなくイベントの告知についても数多く取り上げ、イベントを盛り上げていただきたい。

■ 審議番組「HomeTown ぐんまにあ」

(会長)

次に「HomeTown ぐんまにあ」についてご意見をいただきたい。

(委員:施設めぐりのような企画を)

高崎アリーナができて多くの国際試合が開催されている。大きなイベントだけでなく小さなスポーツイベントもあり番組で取り上げていただくと情報が群馬県全域に広がる。今回、ハンドボールの試合では自分が現場にいるような感覚を受けた。また、スポーツだけでなく施設も素晴らしいので施設めぐりのような企画で紹介をしていただけると良い。

(委員:戦略的な番組)

紙面や写真では伝わらないような内容をしっかりと映像で残してもらって嬉しく感じる。一輪車の競技は、子供にとっては意外と身近なものなので良い題材であると思う。警察と連携した活動を取り上げることは地域の安全安心につながりとても良いと感じた。また高崎にはラグビーチームが多く子供のころからラグビーを楽しんでいる。子供の大会など戦略的にラグビー番組の制作を希望する。

(委員:密着感が強い)

地元への密着感が非常に強くて良いが、スポーツ番組ではないのにスポーツダイジェストを取り上げるのか少々疑問に感じた。取り上げる内容によってテンポが悪いことがある。警察からのお知らせコーナーのある番組は他には無く独創的でもあり、警察からの情報は生活の役に立つ。J:COMには地上波局にはない番組づくりをお願いしたい。

■ コミュニティチャンネル全般について

(会長)

他の番組を含めコミュニティチャンネル全般について、ご意見をいただきたい。

(委員:「ど・ろーかる」アプリ)

昨年、サービスを開始した「ど・ろーかる」アプリを利用している。

今後の「ど・ろーかる」コンテンツの拡大と2年後の東京オリンピックへの対応は考えているのか。

(事業者)

地域との連携により地域が活性化するよう「ど・ろーかる」アプリを活用してコンテンツの配信と視聴拡大を図りたい。尚、オリンピックへの対応は未定である。

(会長)

本日は各委員から数多くの貴重なご意見が出された。これからも地域の活性化に向けた番組づくりを望む。

■ 閉会

(事業者)

本日は各委員から貴重なご意見、ご要望をいただいた。今後も地域の方が出演できる番組制作を行っていく所存である。

以上